

# 構造委員会「小委員会・ワーキンググループ委員」公募

構造委員会では、下記の小委員会・WG委員を公募します。参加を希望される会員は募集要領に従いふるってご応募ください。

## ■募集要領

下記(1)(2)を任意のA4判(ファイル名は苗字のローマ字つづりとする)に明記のうえ、E-mailにてご提出ください。なお、E-mailの件名は「〇〇〇委員応募」としてください。

(1) 希望の小委員会・WG名

(2) 応募者について

- ① 会員番号、氏名、年齢、所属・職位、連絡先住所、同電話、E-mailアドレス、専門分野
- ② 現在、本会で所属している委員会の有無、応募中の委員会の有無(有の場合は委員会名を記すこと)
- ③ 希望委員会で果たせる役割
- ④ 希望委員会に関連する業績

**委員任期** 承認日～2021年3月

**応募締切** 2019年4月15日(月) 必着

**採否** 委員会で決定のうえ本人に通知します。

**提出先** 日本建築学会事務局事業グループ 中村 E-mail: [nakamura@aij.or.jp](mailto:nakamura@aij.or.jp)

---

## ●木質構造運営委員会

### 1. 木質構造設計規準改定小委員会

主査/幹事: 主査 河合直人(工学院大学)

幹事 五十田博(京都大学)・安村 基(静岡大学名誉教授)

募集人数 : 若干名

設置期間 : 2019年4月～2022年3月

活動目的 : 『木質構造設計規準・同解説』(2006年版)の改定作業を継続し、査読への対応、改定原稿の修正、出版のための作業を行う。併せて、長期的視点からの課題を整理する。

### 2. 伝統的木造建築物構造設計検証小委員会

主査/幹事: 主査 大橋好光(東京都市大学)

幹事 中尾方人(横浜国立大学)・藤野栄一(職業能力開発総合大学校)

募集人数 : 1名

設置期間 : 2019年4月～2022年3月

活動目的 : 『限界耐力計算による伝統的木造建築物構造計算指針・同解説』の改定作業を継続する。前身の小委員会に取りまとめた内容の精査と、設計事例の追加作業を行う。また、設計事例の構造設計プロセスについて実務者らに意見を求め、その妥当性・合理性を検証する。

## ●鋼構造運営委員会

### 3. 鋼構造耐火設計小委員会

主査/幹事: 主査 尾崎文宣(名古屋大学)

幹事 鈴木淳一(国土技術政策総合研究所)・新谷祐介(竹中工務店)

募集人数 : 2名

設置期間 : 2019年4月～2023年3月

活動目的 : 本小委員会の主目的は『鋼構造耐火設計指針』を改定することにある。最新の研究成果を同指針に反映させ、火災性状・鋼材温度予測と構造耐力評価に対して新評価手法を提案することで、指針の守備範囲拡大を図る。

## ●振動運営委員会 .....

### 4. 地盤震動小委員会

**主査／幹事**：主査 上林宏敏（京都大学）  
幹事 佐藤智美（清水建設）・高井伸雄（北海道大学）・元木健太郎（小堀鐸二研究所）

**募集人数**：1名

**設置期間**：2019年4月～2023年3月

**活動目的**：強震動の予測精度の高度化に資するため、震源特性および地殻から表層地盤までの伝播媒質の震動特性に関して、地震動や微動記録、それらの数値実験に基づく評価と関連する研究成果の収集・整理を行う。

### 5. 地盤構造評価WG [地盤震動小委員会]

**主査／幹事**：主査 高井伸雄（北海道大学）  
幹事 上林宏敏（京都大学）・佐藤智美（清水建設）・元木健太郎（小堀鐸二研究所）

**募集人数**：1名

**設置期間**：2019年4月～2021年3月

**活動目的**：強震動予測のための地盤構造のモデル化に必要な地盤探査手法について、探査データや三次元地盤構造モデルを対象とした数値実験に基づいて、そのパフォーマンスを評価する。